

株主メモ

事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日
定時株主総会	毎年5月中旬までに開催
配当金受領	期末配当金 2月20日
株主確定日	中間配当金 8月20日
基準日	2月20日 その他必要あるときは公告いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	フリーダイヤル0120-176-417
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は上記の電話照会先をお願いいたします。



第35期 株主通信

平成20年2月21日から平成21年2月20日まで

株式会社 さが美

株主の皆様へ

■ ごあいさつ

謹啓

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと謹んでお喜び申し上げます。



謹白
平成21年5月
代表取締役社長 小野山 晴夫

また、平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成20年3月に新体制のもと3か年の再建計画を策定し、経営の建て直しに全社を挙げて取り組んでおります。

この一年は希望退職の実施や賃金・賞与のカット、赤字店の閉鎖、不採算事業の譲渡など、過去に経験したことのない大規模なリストラを断行してまいりました。その結果、道半ばではありますが、初年度の目標は達成することができました。ご理解ご協力をいただきましたステークホルダーの皆様には、心から感謝を申し上げます。

しかしながら、昨年秋より始まった金融危機に端を発する経済不況は、私ども小売業者にとって大変な逆風であり、先行きの見通せない状況が続いております。再建2年目を迎える当社にとっても同様であります。本来であれば増益を目指すべきところですが、減益という厳しい計画を組まざるを得ず、「継続企業の前提に関する重要な疑義」の記載もはずれではございません。

このような状況のため、配当につきましてはこの度も無配とさせていただきます。大変心苦しく思っておりますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

今年度も消費低迷や関連法令の厳格化など対処すべき課題は山積ですが、再建計画を完遂し、早期の復配実現に向け全力で取り組んでまいり所存です。何卒、株主の皆様におかれましては、今後引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■ 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国の経済は、急激な原油などのエネルギー・原材料の高騰に始まり、後半には米国大手証券会社の経営破綻を機に拡大した世界的な金融危機の影響で、未曾有の不況にあります。これまで、わが国経済を牽引してきた自動車や電気機械など大手製造業が軒並み減益、赤字転落を余儀なくされ、「企業収益は極めて大幅に減少している」との経済報告がなされる状況にあります。企業の輸出、生産も大幅な減少傾向が続いており、設備投資の凍結、延期、雇用情勢の急速な悪化など、先行きが全く見えない状況にあります。

消費マインドも悪化しており、所得の弱い動きとあいまって、小売業界においても、業界全体の売上減少に歯止めがかからず、顧客確保のための思い切った商品値下げやこれまで拡大傾向にあった営業時間の短縮によるコスト削減などにより、利益を確保する動きが進んでいます。

一方、きもの業界においては、近年の継続的なマーケットの縮小に歯止めがかからず、大手企業が業務停止命令を受けるなど、未だ消費者の不信感を払拭することができない状況にあり、平成21年度後半には、改正割賦販売法・改正特定商取引法の施行による規制の強化も控えており、依然として、厳しい状況下にあります。

こうした状況の中、当社グループの中核である(株)さが美においては、収益基盤の確立を目指し、「事業の再構築」「きもの事業の建て直し」「経営コストの構造改革と低減」の3本柱からなる再建計画を立案、遂行してまいりました。

具体的には、事業再構築の観点から、子会社の「(株)すずのき」を平成20年5月21日に事業譲渡し、同じく子会社の「(株)東京和裁」の事業を(株)さが美に統合し、平成20年7月に清算いたしました。また、アパレル事業の「カティアール」につきましても平成20年5月21日に同じユニークグループ企業である(株)モリエに事業譲渡し、ジュエリー事業部の中核事業であった「キラット」についても平成20年11月21日に事業譲渡いたしました。このことにより、(株)さが美の事業を「きもの事業」「ホームファッション事業」「アパレル事業」に集中する体制を構築いたしました。

きもの事業建て直しの観点からは、顧客サービスの原点に立ち返り、きものを着る機会の提供や販売員の着付教育の充実など、きものを着ていただくためのサービス強化を図るとともに、「きものお手入れ」に関するキャンペーン企画などを実施し、顧客数の低下に歯止めをかける努力をしてまいりました。

経営コストの構造改革と低減の観点からは、不採算店舗の閉鎖を進めるとともに、人件費の見直しのため、賞与のカット、給与の減額を実施するとともに、2回に亘る希望退職を募り、141名の応募を受けました。

また、ユニーク(株)並びに出店先のご協力を得て、賃料の減額を進めるとともに、情報システムのローコスト化を目指したシステムの再構築や人件費効率の向上を目指した人事制度の改訂を進め、ローコスト体制への転換を図り、前期に比して50億89百万円の販売費及び一般管理費の削減を行いました。

これによって当連結会計年度末のグループ各社の店舗数は、(株)さが美328店舗、(株)東京すいいわ屋54店舗、(株)九州さが美18店舗、グループ合計で400店舗となっております。

また、当社グループの業態別店舗数は、きもの事業284店舗、ホームファッション事業94店舗、アパレル事業19店舗、ジュエリー事業3店舗となっております。

以上の結果、当連結会計年度の営業収益は453億88百万円(前期比21.1%減)、経常利益5億46百万円(前期実績に比べ26億67百万円の増)となりました。

当期純利益につきましては、3億24百万円(前期実績に比べ123億93百万円の増)となりました。

■ 次期の見通し

経済環境は、先行きが見えず、消費マインドの回復も期待できない状況にあり、また、小売業界では、顧客獲得を目指した商品価格の値下げ競争の様相を呈しており、生き残りを掛けた競争は益々激化するものと思われれます。

一方、きもの市場においても客単価の減少等、厳しい環境は継続するものと思われれます。

こうした状況を踏まえ、当社においては、再建2年目を「成長に向けて基盤づくりの年」と位置づけ下記の取り組みを進めてまいります。

①きもの事業の建て直し

「きものマーケットの深耕と拡大」「きものマーケットの裾野拡大」「きもの事業分野の拡大」に取り組むべき課題と認識し、きものビジョン「さまざまな、きものとの出会いを演出し創造するさが美」の策定、推進を図り、店頭力強化により顧客数の減少に歯止めをかける。

②ホームファッション事業の利益基盤の確立

商品のファッション性、エンターテインメント性の向上を目指し、商品提案力の向上に努め、また、人材の育成を図り、生産性の向上に向けたマネージメント力のアップを目指す。

③内部統制の充実とコンプライアンスの徹底

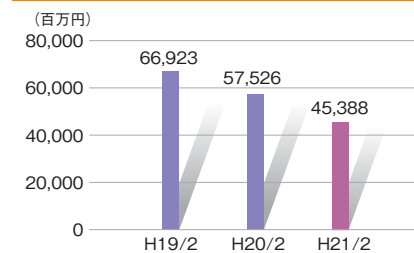
ステークホルダーに信頼される企業を目指し、内部統制の強化を図り、また、業界のリーダー企業として、消費者の信頼を高めるため、コンプライアンスの徹底を図る。

④ローコストへの継続的な取り組み

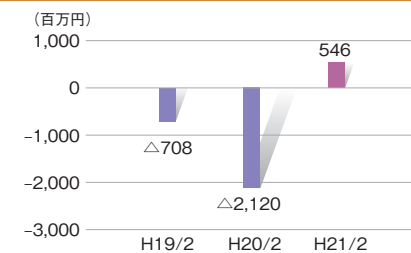
第35期に取り組んだ「経営コストの削減」については、継続的に取り組み、不採算店舗の閉鎖、ローコストを目指した情報システムの導入、徹底したコスト管理を実践する。

以上の取り組みを実施することにより、次期の連結業績は、営業収益361億円(前期比20.5%減)、営業利益2億80百万円(前期比18.4%減)、経常利益2億50百万円(前期比54.3%減)、当期純利益40百万円(前期比87.7%減)を見込んでおります。

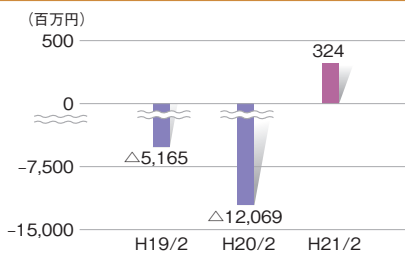
営業収益



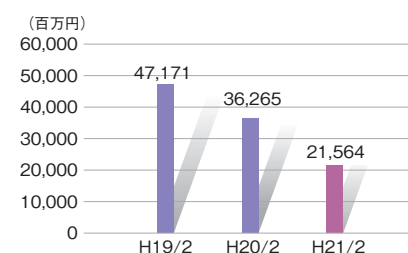
経常利益



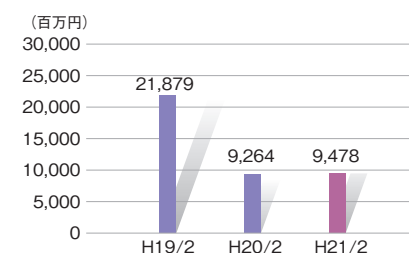
当期純利益



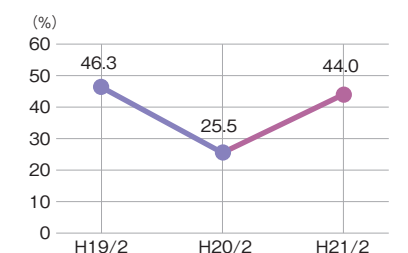
総資産



純資産



自己資本比率



さが美では、早期の収益回復を目指し「株式会社さが美 再建計画」に全社一丸となって取り組んでおります。

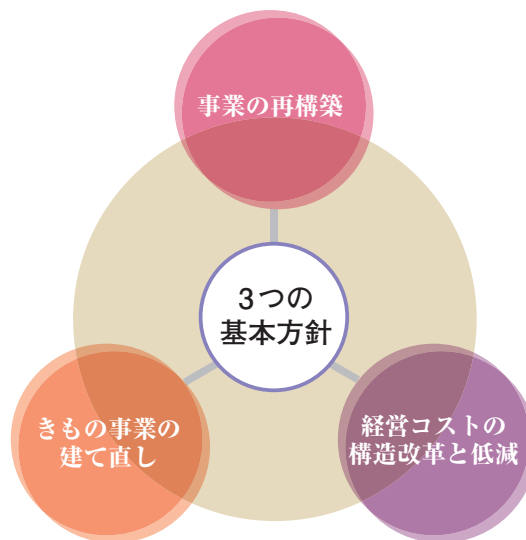
さが美は、確実に利益計上できる体制の構築を目指し、「事業の再構築」「きもの事業の建て直し」「経営コストの構造改革と低減」の3つを基本方針とした「株式会社さが美 再建計画」〈計画期間：平成20年2月21日～平成23年2月20日〉を推進しております。2年目となる第36期は、「成長に向けた基盤づくりの年」と位置づけ、下記の取り組みを進めてまいります。

平成21年度（第36期）重点課題

- ①きもの事業の建て直し
- ②ホームファッション事業の利益基盤の確立
- ③内部統制の充実とコンプライアンスの徹底
- ④ローコストへの継続的な取り組み

事業の中心となる「きもの事業の建て直し」については、ビジョンを「さまざまな、きものとの出会いを演出し創造するさが美」と策定し、「きものマーケットの深耕と拡大」「きものマーケットの裾野拡大」「きもの事業分野の拡大」に取り組むべき課題と認識し、店頭力強化により顧客数の減少に歯止めをかけてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、当計画へのご理解をいただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成21年度（第36期）経営計画

(単位：百万円)	連結	単体
営業収益	36,100	28,260
営業利益	280	195
経常利益	250	185

きもの事業



きもの事業では、新しいビジョンを「さまざまな、きものとの出会いを演出し創造するさが美」と策定し、きものを販売するだけでなく、きものに付随するさまざまなサービスの創出、提供に努めてまいります。第35期に引き続き、店頭販売力強化に注力し、催事販売からの早期移行を図ってまいります。分かりやすい商品説明や価格設定、着付けやお手入れ、リサイクル面でのサービスの充実を図り、お客様視点に立った経営に全力で取り組んでまいります。



ホームファッション事業



ホームファッション事業は、きもの事業に次ぐ柱として、利益基盤の早期確立を目指してまいります。商品のファッション性、エンターテインメント性の向上を目指し、商品提案力の向上、また人材の育成を図り、生産性の向上に向けたマネージメント力のアップを目指してまいります。



アパレル事業



アパレル事業の中心である帽子専門店「シャズボット」は、1号店のオープンから7年目を迎え、売上も好調に推移しております。今後もオリジナリティ溢れる商品開発とエンターテインメント性のある店舗演出を訴求してまいります。



ジュエリー事業



ジュエリー事業につきましては、イタリア時計「ロックマン」と高級宝飾専門店「貴羅ら」の2ブランド展開で、より質の高いサービスの提供を図ってまいります。



今回の注目ショップ訪問レポートは、さが美創立と同時に開店し36年の歴史を誇る「さが美横浜ジョイナス店」をご紹介します。歴史だけでなく売上も常にトップクラスの横浜ジョイナス店は、まさにさが美の旗艦店というべき主力店舗です。

進化を続けるさが美の旗艦店
顧客満足度NO.1を目指し、

フラッグシップショップ

「さが美 横浜ジョイナス店」



JR横浜駅に直結する相鉄ジョイナス百貨店の3階にあるこの店舗は、2007年秋にリニューアルを果たし、装いも新たに生まれ変わりました。

竹をモチーフにした『和モダン』なエントランスは、入りやすく明るいブティック風です。

来店客数は平日が30名、週末は50～60名。客層は長年のお付き合いのお客様から、20代の若い女性まで幅広いのが特徴です。こうしたお客様に対応するスタッフもベテランから若手まで、充実しており、和やかでリラックスできる雰囲気を醸し出しています。



さが美横浜ジョイナス店では、「お客様に気持ち良く過していただく接客」を合言葉に、数々の工夫を凝らしています。

例えばディスプレイは季節感を先取りし、10日毎に入れ替え、お客様に「旬」の着物の楽しみ方を提案しています。



また、ご登録されたお客様にはパーサードカードをお送りするなどし、リピート来店の成果を上げてきました。そして、ご来店時には3か月先までの販売企画情報をお渡しし、更なる来店促進へと繋げています。

最近のヒット企画は、『リメイク・キャンペーン』。

〒220-0005
横浜市西区南幸1-5-1「相鉄ジョイナス」3F
営業時間 11:00～21:00 年中無休
TEL:045-412-3488



お客様がお持ちの古い着物をリメイクし、もう一度着ていただく提案です。若いお客様が、「祖母の思い出の着物を今度は私が着てみたい!」と古い着物を持って来られるなど、世代を超えた着物文化の継承、そして新しい着物ファンの育成にも繋がる素晴らしい企画となりました。

さが美横浜ジョイナス店は、今後も伝統に支えられながら、更なる顧客満足度アップを目指して進化を続けてまいります。



さが美イチ押し! オススメアイテム

さが美のヒット商品でもある本塩沢。

シャリシャリとした風合いをもつ本塩沢は、歴史ある織物産地、新潟県南魚沼市で一反ずつ大切に織られています。

本塩沢の最大の魅力は、シボによる布のでこぼこ感。肌をすべるような、その独特のシャリ感が、今、静かなブームになっています。

また、以前は6月と9月の贅沢なきものとされていましたが、最近では通年お召いただけるおしゃれきものとしても人気を集めています。



さが美 オリジナルの本塩沢 きものと帯のセット
生地価格178,000円(税込)

COMMENT

さが美
「横浜ジョイナス店」
店長

植木 裕之

横浜は、競合店舗の多いエリアです。お客様に支持され続けるためにはどうしたらよいか、常にお客様一人ひとりの声に耳を傾け、新しいことに積極的にチャレンジすることを心がけています。着物のことなら何でも相談できる店、そして信頼される店を目指し、さが美のビジョン「さまざまな、きものとの出会いを演出し創造するさが美」を実践していきたいと思っています。



連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

科目	当期	前期
	平成21年2月20日現在	平成20年2月20日現在
資産の部		
流動資産	10,937	19,189
固定資産	10,627	17,076
有形固定資産	3,970	4,781
無形固定資産	68	118
投資その他の資産	6,588	12,176
資産合計	21,564	36,265
負債の部		
流動負債	9,447	22,077
固定負債	2,638	4,923
負債合計	12,086	27,001
純資産の部		
株主資本	10,415	10,271
資本金	9,217	9,217
資本剰余金	8,812	8,812
利益剰余金	△ 7,276	△ 7,422
自己株式	△ 338	△ 335
評価・換算差額等	△ 937	△ 1,007
その他有価証券評価差額金	0	108
土地再評価差額金	△ 937	△ 1,115
純資産合計	9,478	9,264
負債純資産合計	21,564	36,265

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。(単位:百万円)

連結損益計算書(要約)

科目	当期	前期
	平成20年2月21日から平成21年2月20日まで	平成19年2月21日から平成20年2月20日まで
売上高	45,124	57,205
売上原価	20,597	25,637
営業収入	264	320
営業総利益	24,791	31,889
販売費及び一般管理費	24,447	34,049
営業利益又は営業損失(△)	343	△ 2,160
営業外収益	537	354
営業外費用	333	315
経常利益又は経常損失(△)	546	△ 2,120
特別利益	428	142
特別損失	524	9,736
税金等調整前当期純利益又は当期純損失(△)	451	△ 11,714
法人税、住民税及び事業税	171	193
法人税等調整額	△ 44	160
当期純利益又は当期純損失(△)	324	△ 12,069

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

科目	当期	前期
	平成20年2月21日から平成21年2月20日まで	平成19年2月21日から平成20年2月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,353	△ 1,967
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,361	210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,337	488
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6	△ 4
現金及び現金同等物の減少額(△)	△ 2,336	△ 1,273
現金及び現金同等物の期首残高	4,059	5,333
現金及び現金同等物の期末残高	1,723	4,059

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。(単位:百万円)

連結株主資本等変動計算書(平成20年2月21日から平成21年2月20日まで)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
前連結会計年度末残高	9,217	8,812	△ 7,422	△ 335	10,271	108	△ 1,115	△ 1,007	9,264
連結会計年度中の変動額									
当期純利益			324		324				324
自己株式の取得				△ 2	△ 2				△ 2
土地再評価差額金取崩額			△ 178		△ 178				△ 178
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 107	178	70	70
連結会計年度中の変動額合計	-	-	146	△ 2	143	△ 107	178	70	213
当連結会計年度末残高	9,217	8,812	△ 7,276	△ 338	10,415	0	△ 937	△ 937	9,478

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。(単位:百万円)

個別財務諸表

個別貸借対照表(要約)

科目	当期	前期
	平成21年2月20日現在	平成20年2月20日現在
資産の部		
流動資産	8,119	14,186
固定資産	11,371	15,799
有形固定資産	2,749	3,282
無形固定資産	47	82
投資その他の資産	8,574	12,434
資産合計	19,491	29,986
負債の部		
流動負債	8,019	18,305
固定負債	2,080	2,537
負債合計	10,099	20,843
純資産の部		
株主資本	10,327	10,131
資本金	9,217	9,217
資本剰余金	8,812	8,812
利益剰余金	△ 7,364	△ 7,562
自己株式	△ 338	△ 335
評価・換算差額等	△ 935	△ 988
その他有価証券評価差額金	1	126
土地再評価差額金	△ 937	△ 1,115
純資産合計	9,391	9,142
負債純資産合計	19,491	29,986

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。(単位:百万円)

個別損益計算書(要約)

科目	当期	前期
	平成20年2月21日から平成21年2月20日まで	平成19年2月21日から平成20年2月20日まで
売上高	34,689	40,040
売上原価	16,535	18,940
営業収入	363	496
営業総利益	18,517	21,596
販売費及び一般管理費	18,165	23,254
営業利益又は営業損失(△)	352	△ 1,658
営業外収益	171	242
営業外費用	243	197
経常利益又は経常損失(△)	280	△ 1,614
特別利益	824	131
特別損失	577	11,253
税引前当期純利益又は当期純損失(△)	527	△ 12,736
法人税、住民税及び事業税	150	156
法人税等調整額	-	142
当期純利益又は当期純損失(△)	376	△ 13,034

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。(単位:百万円)

会社概要

(平成21年2月20日現在)

■ 会社の概況

商号	株式会社 さが美
設立	昭和49年4月15日
事業内容	呉服、宝石、婦人洋品、雑貨等の販売を 主要業務とした専門店チェーン
資本金	92億17百万円
本社	〒233-0016 神奈川県横浜市港南区下永谷六丁目2番11号 TEL 045(820)6000
事業所	店舗 328店
社員数	1,862名(嘱託・パートタイマー等含む)

■ 取締役および監査役(平成21年5月15日現在)

代表取締役社長	小野山 晴夫
常務取締役	平松 達夫
取締役	渡辺 清高
取締役	宿野 大介
取締役 (ユニー株式会社執行役員経理財務部長)	越田 次郎
常勤監査役	富永 隆彦
監査役(弁護士)	小野 正典
監査役(ユニー株式会社監査役)	吉田 龍美

(注1) 監査役小野正典および監査役吉田龍美の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

(注2) 取締役越田次郎は、平成21年5月19日付でユニー株式会社取締役に就任予定であります。

■ 主なグループ会社

連結子会社
株式会社東京ますいわ屋
株式会社九州さが美
株式会社匠美

親会社
ユニー株式会社

■ Webサイト紹介



URL: <http://www.sgm.co.jp/>
当社はホームページを重要な情報発信源のひとつと考えております。さが美グループのホームページ「Life with SAGAMI」では企業情報の他に、最新の商品情報や店舗情報を掲載しております。ぜひ、ご覧下さい。

株式情報

(平成21年2月20日現在)

■ 株式の情報

発行可能株式総数	117,907,000株
発行済株式の総数	40,834,607株
株主数	3,878名

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ユニー株式会社	21,994	55.3
さが美共栄会	1,263	3.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,247	3.1
株式会社セントラルファイナンス	854	2.1
第一生命保険相互会社	810	2.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	587	1.5
日本生命保険相互会社	411	1.0
三菱UFJニコス株式会社	384	1.0
株式会社ジャックス	326	0.8
さが美社員持株会	317	0.8

(注1) 出資比率は自己株式1,034,934株を控除して算出しております。
(注2) 出資比率の計算は、パーセントの少数第2位を四捨五入しております。
(注3) ㈱セントラルファイナンスは旧㈱オーエムシーカード、旧㈱クオークと平成21年4月1日に合併し、新会社「㈱セディナ」となっております。

■ 株主優待

1,000株以上の株主様には5,000円相当の買物優待券(5,000円券1枚)、
3,000株以上の株主様には10,000円相当の買物優待券(5,000円券2枚)を
ご提供しております。

【優待対象基準】

2月20日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。



■ 所有者別株主状況

